

◆ 学会動向 ◆

アジア環境資源経済学会 2022 年大会

李 秀 澈 (名城大学)

アジアの環境・資源経済学研究を代表する学術団体である、アジア環境資源経済学会(AAERE: the Asian Association of Environmental and Resource Economics)の11回目の年次大会が、2022年8月19～20日にベトナムのホーチミン経済大学(the University of Economics Ho Chi Minh City (UEH University))で開催された。本大会は、“A Pathway towards Carbon Neutrality in Asia”というテーマを掲げ、オンラインと対面のハイブリッド方式で開催された。大会には約100人の研究者がズーム・オンラインにより、約100人の研究者が対面により参加した。主なアジアの参加国は、日本、中国、韓国、台湾、インド、ベトナム、インドネシア、マレーシア、タイ、パキスタン、オーストラリアなど17カ国であり、アメリカ、カナダ、ドイツ、イタリア、スイス、南アフリカ共和国、ウガンダなどアジア以外からも10カ国の研究者が参加した。

筆者は、この大会のScientific Committeeの議長を務めさせていただいた。大会報告の

申し込みは約230本の研究であったが、レビュープロセスなどにより、最終的には170本の研究が報告された。大会報告は、下記のように24つのサブテーマで、レギュラー・企画・ポスターセッション合わせて40の平行セッションが設けられた。約半数の報告が、Carbon Neutrality, Renewable Energy, Energy Transitionなど、気候変動に関する研究であったが、そのほかにも多岐にわたる環境資源経済関連テーマから報告が行われた。

大会初日目は、オープニングセレモニーにつづいて、イギリスのユニバーシティ・カレッジ・ロンドン(UCL)大学のポール・エキンズ教授により“Getting to Carbon Neutrality: Challenges and Implications for Asia”とのテーマで基調講演が行われた。エキンズ教授は、カーボンニュートラルの達成は、政治家の確固たるリーダーシップが必要不可欠であり、早期達成のためには先進国と途上国の脱炭素技術や資金協力が重要であることを力説した。

大会報告のテーマ

Carbon neutrality	Mitigation policies of climate change
Impacts of climate change	Energy and climate change models
Renewable energy	Energy transition
Decarbonization technology	Carbon storage and sequestration
Urban and low carbon transportation	Low carbon building, house
Environmental governance	Non-market valuation
Biodiversity and ecosystem management	Health and environment
Water and land management	Marine and forest resources
Food and agriculture	Environment and development
Waste management	Disaster management
International trade and environment	International aid and environment
COVID-19 and environmental issue	Private sectors and environment

総会後の集合写真



大会二日目の基調講演は、世界銀行の Muthukumara Mani 副総裁により、“Vietnam Climate Change Challenges and Development” のテーマで行われた。Mani 副総裁は、ベトナムが高度成長を成し遂げながら気候変動問題への挑戦に成功していることは、他のアジア途上国に示唆するところが大きいと話した。

今回の大会から、40歳以下の若手研究者を対象とするベストポスター賞が設けられた。ベストポスター賞は、Consumption-

based CO2 emission and mitigation strategy: a case of South Korean provinces というテーマで報告した韓国ソウル大学の Jintae Kim 氏が受賞した。大会の詳細は、学会のウェブ (<https://aaere.org/>) で閲覧できる。

2023年大会は、2023年8月29～30日に東京の早稲田大学で開催されることとなった。詳しくは <http://tokyo2023.aaere.org> を参照されたい。